

株式会社リバース（株式会社ツルハの子会社）による株式会社エバラドラッグの営業の一部の譲受

（合意契約締結時期） 2004年10月

（当社の立場） 双方企業への提案と双方からの依頼により仲介

（案件の意義）

ツルハグループは、ドラッグストアのナショナルチェーン構築を前進させるため、首都圏での事業規模拡大を一つの課題としていた。一方、エバラドラッグは、ドラッグストア業界においては大手チェーン間の出店競争がますます激化し、生き残りをかけた競争が盛んになってくる中、他社との連携を将来へ向けての一つの選択肢としていた。このような両社に対し、エバラドラッグが首都圏（東京、神奈川）で営業する6店舗のうち5店舗の営業をツルハグループの首都圏戦略を担うリバースに譲渡する本件を提案。両社の意向が合致した。